

第 2 回推進会議以降の各取組ワーキンググループの活動報告

住宅・拠点関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：

1～6, 8～20, 24～26

● 中古住宅の流通促進（取組項目番号 14・15 関連）

（取組状況）住宅ファイル制度の活用方法の検討。

（課題）利用者の費用負担，新耐震基準を満たさない住宅への対応

（今後）住宅ファイル制度を実際の中古住宅に適用する。住宅のメンテナンスをしていたことがどのように評価として反映されるのかについて具体的に検証する。

● 住み替え相談（取組項目番号 13 関連）

（取組状況）住み替え相談窓口の開設場所の検討，相談対応者の検討。

（課題）住み替え相談窓口の開設場所の検討，相談対応者の検討。他ワーキングとの連携

（今後）先進事例のように行政と専門家の連携のもとに成り立つ，空き家や中古流通の相談体制等の検討が必要である。「サブセンターの活用による働く場の創出」にも関係するが，ファイナンシャルプランナーに，会館の一室を仕事場として提供して相談業務にも対応してもらうことがあり得るが，参画可能なファイナンシャルプランナーをどのようにして探すのか，そのことに対してどの主体が実働するのか，さらに，参画するファイナンシャルプランナーが見つからない限りは，実現可能性は低いと考えざるを得ない。また，相談対応のできる専門家が常駐することが難しい場合は，会館の利用に対するアンケートにおいてニーズの高かった健康づくりに関わるサービスを提供する場を，週 1 回だけでも開設できたとして，その場に常駐できるスタッフ等が利用者とのなじみをつくりながら，住み替え相談の専門家を紹介できる体制をつくることも考えられる。特に，このテーマについては，仕組みを活用して実際に事業を実施する（利益を得る）事業者が仕組みの構築のための実務に積極的に参加すべきであるが，仕組みの構築に対して実働できる事業者との連携が必要である。仕組みを運営する際にも，利益の一部をまちづくり（健康づくりに関わるサービスを提供する場の充実）に提供する仕組みや，そのことを包括的にマネジメントする，まち会社のような組織が必要である。

● 景観まちづくり（取組項目番号 25 関連）

（取組状況）11 月 12 日に，洛西ニュータウン創生推進連絡会による勉強会を実施し，低層住宅地における植栽の減少傾向について共有した。11 月 26 日に景観まちあるきツアーを実施予定である。

（課題）景観まちづくりの担い手の発掘

（今後）例えば，新しい居住者の交流場として，緑道の清掃活動を実施するなど，担い手の発掘と，利用者がまちの情報を得ることが両立できるような活動を創出する可能性について検討する。

主なメンバー （敬称略）	香水義三（住まいと景観チーム），吉岡和潔（吉岡不動産鑑定事務所）， 万殿慎二（住まいと景観チーム），安枝英俊（兵庫県立大学），京都市，住宅供給 公社
今年度まず取り組む取組項目番号	14 住宅ファイル制度・インスペクション制度の推進 15 中古住宅の評価を反映できる金融商品の開発
主な活動	第 2 回 WG 会議 10 月 27 日（金） 9 月 JTI 説明会 10 月 10 日（火） 第 2 回 WG 事前打ち合わせ会議
今後の予定	ファイナンシャルプランナーの参画の可能性 住宅ファイル制度の実施実験 景観まちづくりの担い手の発掘
これまでの取組	住宅ファイル制度の活用方法の検討 ニュータウンにおける低層住宅の取引動向の分析

子育て関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
7, 27～37

現在までに3回のワーキンググループを開催している。

● 木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」(取組項目番号7関連)

(取組状況) 洛西支所1階ロビーに、京都市内産の木材を使用した子育て拠点スペースを設置することで作業を進めており、平成29年9月に公募型プロポーザルによる業者選定を実施した。

業者が作成したレイアウト案に対して、地域住民団体や子育て支援団体等から意見をいただくために、平成29年10月16日、17日に第1回ワークショップを、11月2日に第2回ワークショップを開催した。

(課題) スペース設置後の具体的な活用方法(定期的なイベントの開催等)を検討する必要がある。

(今後) ワークショップでの意見を参考に最終のレイアウトを決定し、12月中には設置作業に着手する。

● 洛西ニュータウンにおける病児保育のニーズ調査のためのアンケート実施(取組項目番号28関連)

(取組状況) 病児保育サービスの実施に関する検討を進める上で、病児保育に対するニーズの把握を行うため、アンケート調査の実施を検討しており、アンケートの内容について議論を進めている。

実施方法は、スマートフォンなどで手軽に回答できるようにインターネットを想定しているが、紙媒体でも並行して実施した方がよいと考えている。紙媒体のアンケートは、児童館や保育園などに協力いただき、回収ボックスを設置することなどを検討している。

(課題) アンケートの結果をどのように活用していくのか検討が必要。

(今後) アンケートの具体的な内容や実施方法・時期等を検討していく。

● 洛西支所1階ロビーに設置予定の子育て拠点スペースにおけるイベントの開催(取組項目番号29関連)

(取組状況) 本年度、洛西支所1階ロビーに設置する子育て拠点スペースにおいて、地域の子育て支援団体等による子育て支援イベントが定期的開催されるような仕組みづくりを検討する。

(課題) イベントの実施主体の掘り起こしや、イベントのスケジュール管理の方法等など、詳細を詰めていく必要がある。

(今後) スペースの完成時期を視野に入れながら、他区での先例なども参考に検討を進めていく。

● 洛西ニュータウンに必要な子どものセーフティネットの検討(取組項目番号31関連)

(取組状況) 子ども食堂にとらわれず、まずは洛西ニュータウンにどのようなセーフティネットがあるのかという現状把握をし、今後、具体的にどのようなセーフティネットが必要なのかをワーキンググループ内で検討する。

(課題) 具体的に必要なセーフティネットを検討することと併せて、実施主体の掘り起こし作業が必要。

(今後) まずは、必要なセーフティネットやその内容についての議論を深める。

● ママパパのまちとのつながり支援チームの立上げ(取組項目番号34関連)

(取組状況) 子育て等を機に一時的に離職しがちなパパやママが、自身が就職時に身に着けたスキルやノウハウを生かして、社会との接点を持ち続けられる機会を創出するための推進組織「ママパパのまちとのつながり支援チーム」の立上げの取組が、本年度の洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業補助金(活動スタートアップ支援枠)の交付対象事業に決定した。

子育て中のママやパパのチラシ作成やデザインのスキルアップを目的として、本年9月21日

に、プロのデザイナーを講師に迎えて、「プロから学ぶ！パッと目をひくチラシづくり講座」を開催した。

(課題) 洛西ニュータウンにおける、地域での実際の困りごとを把握してから、そのニーズに対応したスキルを持った人材を確保する必要がある。

(今後)・ ママやパパのスキルを生かして、どのような仕事とのマッチングを図り、まちとつながることができるのかを探るため、地域の団体や企業に対して、ニーズの把握のためのアンケート調査を実施する予定。

- ・ 第2回のスキルアップ講座の開催を検討中。

● 京都経済短期大学と洛西ニュータウンの小学校との連携による教育プログラムの検討

(取組状況) 平成29年7月4日に育みサポーターと京都経済短期大学、洛西支所、都市計画局とで打合せを実施した。来年度以降に具体化な取組として実施できないか検討中。

(課題) 内容の検討とともに連携先となる小学校があるかどうかの確認が必要。

(今後) 引き続き検討を進める。

<p>主なメンバー (敬称略)</p>	<p>によつきつき：大内田恵美子 ラクセーナ商店会事務局：大島 俊哉 つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀 マミーズアップ：坂本 景子 しぶ柿文庫：片山 静江 のはらくらぶ：佐藤 洋子 らくさいスコーレ：玉手 優子 京都市久世保育所：國吉 啓太 " ：田村 優梨子 " ：井尻 千晴 " ：高橋 知里 木の実保育園：黒住 木末 新林児童館：小倉 真由美 福西児童館：高橋 睦巳 京都市境谷児童館：清都 ひさ子 京都市西京区境谷学区民生児童委員協議会：吉川 博美 京都市ユースサービス協会：米原 裕太郎 西京区洛西支所地域力推進室：赤井 明子 " ：平井 淳史 " ：秋山 龍哉 西京区洛西支所子どもはぐくみ室：藤森 紀行 " ：藤井 有紀子 都市計画局都市企画部都市総務課：菱田 栄造</p>
<p>今年度まず取り組む取組項目番号</p>	<p>7 子育て支援情報の発信拠点の設置 28 病児保育サービスの実施についての検討 29 子育て支援団体等と子育てファミリーとのマッチングイベントの開催 34 「洛西ニュータウンパパ・ママさんデザインチーム (仮称)」の設立</p>
<p>主な活動</p>	<p>第1回ワーキンググループ会議 平成29年8月4日 (金) ・洛西ニュータウンアクションプログラムについて ・今後検討する議題、議事の進め方等について 第2回ワーキンググループ会議 平成29年9月7日 (木) ・木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」について ・ママパパのまちとのつながり支援チームについて</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・病児保育サービスについて <p>第3回ワーキンググループ会議 平成29年10月19日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」について ・ママパパのまちとのつながり支援チームについて ・病児保育サービスについて
今後の予定	第4回WG会議を、平成29年12月7日(木)に開催予定。
これまでの取組	

公園関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
21～23, 57～69

これまでワーキンググループを3回開催している。

● 竹林公園内「子どもの広場」の整備素案の作成（取組項目番号57, 60, 64関連）

（取組状況）上記広場の、子どもの楽園（仮称）への再整備に係る素案の作成に当たり、具体的な意見集約を行っていくことを目的として、平成29年10月15日（日）に竹林公園にて、子どもたちを対象とした第1回ワークショップを開催（18名（事務局含む））

（課題）竹林公園自体の地域への認知度向上に向け、福西学区を含めた洛西地域に、竹林公園自体の情報発信を行っていくことが重要である。

また、整備後の子どもの楽園（仮称）において、継続的にプレイパークが開催されるような仕組みを検討していく必要がある。

（今後）平成29年12月3日（日）に第2回ワークショップを開催予定。福西学区自治連合会や福西小PTAをはじめ、各種団体、教育関係機関等に対し、改めて竹林公園やワークショップの周知を依頼している。 ※ワークショップについては、本年度に計3回開催予定

● ネイチャーパーク@らくさいの実施（取組項目番号64, 65関連）

（取組状況）平成29年度の洛西支所の事業として、平成29年11月11日に主に小学生や中学生を対象としたプレイパーク「ネイチャーパーク@らくさい」の第1回を開催した。

当日は、地域のNPO法人が竹のジャングルジムや竹のジェットコースターを設置したほか、ボーイスカウトがロープ遊びなどを実施し、子どもたちが自然に触れ、自由に遊ぶ楽しさを体験し、安心してのびのびと遊べる憩いの空間づくりを行った。

また、乳幼児を連れた保護者が来ることも想定し、地域で読み聞かせをしている住民団体による絵本の読み聞かせブースを設置したり、寒い時期なので、地域の障害者就労支援団体に温かい飲み物を提供してもらうなどした。

（課題）住民、地域団体、事業者や行政などが連携・協力して、洛西ニュータウン内の公園で継続的に開催していく仕組みづくりを検討するとともに、本取組を広く周知することにより、ニュータウンの交流人口の増加、定住促進に繋げていく。

（今後）第2回のネイチャーパーク@らくさいを平成30年1月下旬から2月をめどに開催予定。

● 小畑川中央公園等の樹木管理・施設の更新（取組項目番号66, 67関連）

（取組状況）

- 平成29年8月17日から平成30年3月15日ごろまでの予定で、小畑川中央公園及び南緑地等において、樹木の育成環境を整えることを目的として、危険な樹木の撤去や、樹木の密度を適切な状態にするための剪定・支障木等の伐採を行っている。
- 平成29年11月6日から12月20日ごろまでの予定で、北緑地の老朽化したフェンスを撤去し、新しいフェンスを設置するとともに、大蛇ヶ池公園北西部の階段（パーゴラの上下）に手すりを増設する工事を行っている。
- 平成29年11月10日から平成30年3月15日ごろまでの予定で、小畑川中央公園において、老朽化したベンチ・テーブル等の施設更新工事を行っている。

（課題）樹木管理や施設整備等において、地域住民の意見等を聞きながら推進していく必要がある。

（今後）地域住民や公園愛護協力会等と情報共有しながら、適切に樹木等の管理を行っていく。

主なメンバー
（敬称略）

洛西ママカフェ：青木 志織
つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀
しぶ柿文庫：片山 静江
のはらくらぶ：佐藤 洋子

	<p>洛西フリースペース：中道 秀貴 NPO法人京都発・竹・流域環境ネット：吉田 博次 株式会社おもちゃあ：辻 宣幸 公園愛護協力会（小畑川中央公園（中））：山本 長司 公園愛護協力会（小畑川中央公園（北））：高橋 進 公園愛護協力会（小畑川中央公園（南東））：福富 修一郎 公園愛護協力会（小畑川中央公園（南）） }：杉浦 秀好 公園愛護協力会（竹の里公園） } 公園愛護協力会（小畑川中央公園（中央））：鈴木 綾 公園愛護協力会（大蛇ヶ池公園）：岩倉 紘一 公園愛護協力会（新林池公園）：勝本 竹彦 公園愛護協力会（境谷公園）：石橋 廣治 公園愛護協力会（福西公園）：中山 正紀 公園愛護協力会（境谷北ひろば）：前田 照彦 洛西ニュータウン創生推進連絡会小畑川活用検討チーム：高木 幸三 福西児童館：高橋 睦巳 京都市境谷児童館：清都 ひさ子 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史 〃：山口 覚 〃：秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：菱田 栄造，藤田 徹 建設局みどり政策推進室：浅井 雅英 建設局北部みどり管理事務所：奥村 和也，奥田 吉彦，山戸 伸治 京都市住宅供給公社洛西事業部：山根 新吾，伊藤 晋 オブザーバー：平井 義昌</p>
今年度まず取り組む取組項目番号	<p>57 子どもの楽園（仮称）の再整備 60 園内資源の積極的な情報発信 64 プレイパークの開催 65 魅力イベントの開催 66 魅力ある公園再整備 67 緑の適切な管理</p>
主な活動	<p>第1回ワーキンググループ会議 平成29年8月29日（火） ・洛西ニュータウンアクションプログラムについて ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について ・身近な公園（小畑川中央公園等）の整備について 第2回ワーキンググループ会議 平成29年10月3日（火） ・洛西プレイパーク事業について ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について 第3回ワーキンググループ会議 平成29年11月7日（火） ・ネイチャーパーク@らくさいについて ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について ・小畑川中央公園等の樹木管理・施設の更新について</p>
今後の予定	<p>第4回のワーキンググループを12月に開催し、竹林公園の第2回ワークショップ，第1回ネイチャーパーク@らくさいの実施結果などを報告予定。</p>
これまでの取組	

高齢者・障害者関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
38～41, 43～46

これまでにワーキンググループを4回開催している。

● 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信（取組項目番号38関連）

（取組状況）デイサービスセンター、障害者支援の事業所や、地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政などが個別に情報発信を行っており、取組を推進している。

（課題）情報は質・量ともに豊富にあるので、いくつかの分野では情報の整理ができていますが、情報が必要な人に適切な情報を届けるアプローチの方法や機会の検討が不十分。

（今後）高齢者や障害者が、必要な情報をより入手しやすくするための、情報の整理と広報手段の検討（RCVの活用など）。

● 障害や障害者に関する啓発活動の展開（取組項目番号40関連）

（取組状況）地域の方が集まるイベントなどにおいて、障害者を支援する団体、ボランティアグループなどがパネル展、作品展、チラシ配布などを行い、取組を進めているほか、学校での福祉教育、区総合防災訓練への障害者の参加と啓発を進めている。また、関係者に対しても啓発を目的とした研修を実施している。

（課題）既に取り組んでいる啓発活動をもっと広めていく機会や手段があればいいが、単に回数を増やすだけではなく、内容の充実等の観点からも検討が必要。

（今後）障害や障害者に関する住民の理解が広まるよう、引き続き、効果的な啓発の手法について検討する。

● 障害者を支えるボランティア活動の支援（取組項目番号41関連）

（取組状況）西京区社会福祉協議会が、視覚障害者支援ボランティア養成講座を実施するなどして、ボランティア育成の取組を行っている。また、当事者団体がそれぞれ研修・講座を行っている。

（課題）入門講座への参加者が減少傾向にある。

（今後）障害者支援のボランティアに関心のある人を増やしていく必要があるため、裾野を広げるような取組や計画を検討していく必要がある。

● 認知症の人を支える人材育成（取組項目番号43関連）

（取組状況）西京区認知症地域ケア協議会では、西京区認知症区民公開講座や専門職による研修会等を定期的に開催している。また、西京区認知症ネットワークでは、洛西管内の小・中学校における「認知症あんしんサポーター養成講座（以下、「認サポ」という。）」の実施など、地域で認知症の人を支える環境づくりに取り組んでいるほか、地域ケア会議においては、徘徊模擬訓練の実施、西京区での認知症アドバンス講座の実施、認知症の人を発見して、専門機関へとつなぐ仕組みづくり・個別検討などを行っている。

その他、管内の地域包括支援センターが、地域からの要請により、学区自治連合会や学区民生児童委員会、学区社会福祉協議会などに対し認知症の講座を実施している。

（課題）より幅広い層の区民に認知症について知っていただくため、引き続き様々な対象者に対する認知症の講座等を実施していく必要がある。

（今後）引き続き、西京区認知症ケア協議会や西京区認知症ネットワークでの取組を進め、小・中学校や学区の各種団体に対し、認知症に関する講座を開催するとともに、対象者の拡大を図っていく。

＊西京区認知症地域ケア協議会構成団体

西京医師会(事務局)、西京区役所及び洛西支所保健福祉センター、西京警察署、西京消防署、西京区社会福祉協議会、京都市立中学校長会西京支部、西京区自治連合会、西京区民生児童委員会、西京区老人クラブ連合会、京都市地域包括支援センター在宅介護支援センター連絡協議会西京支部、認知症の人と家族の会、虹の会、ますかつとの会、京都市老人福祉施設協議会西京支部、西京区通所介護施設連絡会、介護支援専門員会、西京区地域介護予防推進センター、西京地域訪問看護ステーション連絡会、病院地域連携実務者会、京都府西京薬剤師会、京都市西京歯科医師会、西京コンビニ防犯対策協議会、京都経済短期大学、京都府理学療法士会、京都府作業療法士会

＊西京区認知症ネットワーク構成団体

【コアメンバー】

西京区役所及び洛西支所保健福祉センター(事務局)、
西京区及び洛西管内の地域包括支援センター、西京区社会福祉協議会

【オブザーバー】

西京医師会、京都市西京歯科医師会、京都府西京薬剤師会、西京警察署、西京消防署、
居宅・包括運営会議

● 認知症に関する啓発活動の展開(取組項目番号44関連)

(取組状況)西京区認知症地域ケア協議会が、西京区認知症区民公開講座を開催しているほか、西京区認知症ネットワークでは、平成28年度らくさいさくらまつりや健康ひろば、平成29年度西京区民ふれあいまつりにおいて、認知症に関するブースを開設し、啓発活動に努めてきた。

また、認知症初期集中支援チームでは、認知症初期の方への発見及び対応を行っている。

(課題)引き続き、地域で開催されるイベント等の機会を通じて、より多くの区民に認知症について知っていただく必要がある。

(今後)今後も、西京区認知症ネットワークによる取組を進め、概ね年1回程度、区民対象の大規模イベントにおいて啓発活動を行う予定である。

● キャラバン・メイト(認知症あんしんサポートリーダー)の地域での活動充実につながる支援の検討(取組項目番号45関連)

(取組状況)洛西管内においては、地域からの依頼等により、地域包括支援センターに在籍しているキャラバン・メイトによる認サポを適宜開催しているほか、小学校と連携し、小学生を対象とした講座も開催している。

(課題)地域からの認サポの開催要請が増加していることから、京都市長寿すこやかセンターとも連携し、管内の包括支援センターだけでなく、区内のキャラバン・メイトにも積極的に認サポの開催を担っていただく必要がある。

また、認サポ受講者には、サポーターステップアップ講座をはじめとした福祉研修を受講してもらうなど、認知症や介護に関する知識をさらに高める一歩進んだ意識づくりの機会を設け、さらには、「キャラバン・メイト」要請講座の受講を促し、専門職以外のキャラバン・メイトを増やしていく必要がある。

(今後)西京区認知症ネットワーク、西京区認知症地域ケア協議会などにおいて、地域包括支援センター以外の区内のキャラバン・メイトに対し、洛西ニュータウンや近隣地域で活動する機会を積極的に提供するための取組を検討する。

● 軽度の認知症の人が、洛西ニュータウンや大枝・大原野地域でいきいきと活動できる仕組みづくりの検討（取組項目番号45関連）

（取組状況）

- ・ 地域住民等により、軽度認知症の方が集える「認知症カフェ」の取組みが行われている。
- ・ なんやかんや「大原野」推進協議会の取組などの中で、軽度認知症の高齢者の活動の場や障害のある方の就労に結びつくものがないか聞き取り調査を行うとともに、活動や就労につなげていく可能性やその方策について検討を重ねている。

（課題）軽度認知症の方や障害のある方にどのような課題やニーズがあるのか、また、それらが受入れ先のニーズと合致するのか、マッチングするとして、具体的にどのようにしてコーディネートしていくのか等を検討する必要がある。また、トイレの確保、移動手段など、活動を始めるに必要な条件をクリアする必要がある。

（今後）受入れ先の掘り起こしや、軽度認知症の方などのニーズを関係団体等にヒアリングするなどして情報収集を行い、ワーキンググループにおいて情報共有及び検討を行う。

<p>主なメンバー (敬称略)</p>	<p>京都市西部障害者地域生活支援センター「らくさい」：森口 竜治 京都市沓掛地域包括支援センター：内山 裕之 京都市境谷地域包括支援センター：堀 英彦 NPO法人洛西福祉ネットワーク：齋藤 信男 京都市西京区社会福祉協議会：島田 尚和 // :小原 滉平 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部健康長寿推進課：赤木 範子 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部障害保健福祉課：出口 由美子 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史 // :秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：菱田 栄造</p>
<p>今年度まず取り組む取組項目番号</p>	<p>38 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信 40 啓発活動の展開 41 障害者を支えるボランティア活動の支援 43 認知症の人を支える人材育成 44 認知症に関する啓発活動の展開 45 地域における認知症サポート活動展開の支援検討</p>
<p>主な活動</p>	<p>第1回ワーキンググループ会議 平成29年7月26日（水） ・洛西ニュータウンアクションプログラムについて ・昨年度の高齢者ワーキンググループの開催状況等について ・意見交換 第2回ワーキンググループ会議 平成29年9月13日（水） ・各プログラムの進め方について ・今後のワーキングの持ち方について 第3回ワーキンググループ会議 平成29年10月12日（木） ・前回会議の内容及び進捗状況の確認 ・各プログラム項目について意見交換 第4回ワーキンググループ会議 平成29年11月16日（木） ・情報共有 ・意見交換</p>
<p>今後の予定</p>	<p>第5回ワーキンググループを平成29年12月中に開催予定。</p>
<p>これまでの取組</p>	

観光・サブセンター関係ワーキング(観光部会) 活動報告	担当取組項目： 47～56
------------------------------------	------------------

観光プログラムの構築に向け、サイクリングイベントを実施し、イベント実施を通じて、アクションプログラムに位置付ける複数のプログラムの展開を図った。

● 「らくさいスマートサイクリング」の実施(取組項目番号 51, 52, 53, 54, 55 関連)

(取組状況) エミナース、大枝・大原野の飲食店や寺社等魅力資源、地元で開催されるイベント等と連携したサイクリングイベントの実施(具体的には、①地元飲食店で昼食を取るサイクリングコースを設定し、ランチクーポンを発行、②地域の魅力資源をサイクリングコースに組み込み、各資源でシールを集める「シールラリー」の実施、③サイクリングに活用する観光マップを作成、④サイクリング実施にあたり、参加者募集のチラシを作成し洛西口駅、桂駅、上桂駅の他、公共施設等での観光情報の発信)。また、イベントと合わせて洛西・大枝・大原野観光に関するアンケートの実施。

(課題) 事業者が主体的に取り組む観光プログラムの構築や周遊コースの開発、観光プログラムの定着等

(今後) サイクリングイベントの成果やサイクリングイベント時に実施したアンケート等を踏まえた観光プログラム構築に向けた検討及び観光マップの作製。

主なメンバー (敬称略)	村下 恒雄 NPO法人 らくさいライフスタイル 吉田 泰基 まちづくりアドバイザー 新治 光子 洛西ケーブルビジョン株式会社 首藤 歩 洛西ケーブルビジョン株式会社 辻 宣幸 株式会社おもちゃあ 小山 良治 株式会社高島屋洛西店 大西 章 ホテル京都エミナース 大島 俊哉 ラクセーナ商店会 永田 賢司 阪急電鉄株式会社 小川 直子 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 加藤 淳 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 西澤 亨 京都市住宅供給公社 山根 新吾 京都市住宅供給公社 赤井 明子 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 秋山 龍哉 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室
今年度まず取り組む取組項目番号	51 地域の魅力を発信する観光プログラムの検討 52 洛西口、桂駅等での観光情報発信 53 観光・散策ルートの検討 54 新たな観光プログラムの開発 55 大枝・大原野と連携した周遊コースの開発
主な活動	第1回WG会議 7月3日(月) ○観光プログラムの構築について 第2回WG会議 8月8日(火) 第3回WG会議 9月6日(火) 第4回WG会議 10月4日(水) 第5回WG会議 11月1日(水) ○らくさいスマートサイクリングについて 第6回WG会議 11月15日(水) ○らくさいスマートサイクリングについて

	○アクションプログラムに位置付けられている取組について
今後の予定	<p>今後の観光プログラム展開の軸となる観光案内等拠点機能の充実について検討し、阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトと連携しながら、観光プログラムの構築を図る。</p> <p>また、大枝・大原野地域を含めた広域的な観光展開に向け、地域の飲食店や魅力資源、農業関係者等との連携を強め、観光コンテンツの開発を図る。</p>
これまでの取組	<p>「らくさいサイクルツアー」実施に向けた検討</p> <p>①実施イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「健康」「観光」の観点から、「自転車」にスポットを当て、より広い範囲で洛西ニュータウンや大枝・大原野地域の魅力を楽しむことができるようなプログラムの構築を想定した「サイクルツアー」の実施。 <p>②プログラム構築に向けた事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の魅力提供、休憩スポット確保につながる事業者として、洛西の魅力資源、飲食店やイベントと連携。(大原野神社、正法寺、松尾園芸、高田クリスタルミュージアム、佐藤養鶏場、らくさいマルシェ、らくさい夜マルシェ、風土・food 大原野) ・サイクルツアー拠点機能確保、サイクルツアー実施協力事業者として、洛西の事業者や市内事業者と連携。(阪急電鉄、ホテル京都エミナース、京都ちりんちりん、京都サイクリング協会) <p>③観光情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルツアー実施にあたり、参加者募集 PR チラシを作成し、様々な施設で配架した他、マスコミ媒体等を活用し情報を発信(配架：公共施設、鉄道駅、観光案内所 インターネット・SNS：京都観光 Navi、らくさいトコト 広報誌・情報誌：市民しんぶん、リビング京都) <p>④観光マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洛西 NT や大枝・大原野の魅力資源を掲載した観光マップを作成し、サイクルツアーに活用。 <p>⑤アンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洛西スマートサイクリングの際、参加者にツアー実施に関する観光アンケートを実施した他、洛西口駅と洛西マルシェ会場において、洛西地域の観光に関するアンケートを実施。

観光・サブセンターワーキング関係(サブセンター部会) 活動報告

担当取組項目：
42, 70, 71

○ 各サブセンター・会館の有効活用（取組項目番号70関連）

（取組状況）住民アンケート調査の結果、境谷・竹の里地域では「コンビニエンスストアの誘致」、新林・福西地域では「気軽に運動や体操ができる場」を求める回答が多かったことから、その実現に向け、事業者へのヒアリングなど実現に向けた検討を行っている。

（課題）コンビニについては、店舗の整備・運営に必要な幹線道路に面した土地が必要
気軽に運動ができる施設については、運営する主体や場所の検討が必要
会館については、特に夜間利用が低迷し、便所をはじめ施設の老朽化が進行

（今後）コンビニについては、建設に係る諸条件を整理したうえ、実現に向けた取組を行う。（境谷センターについては、時間貸し駐車場の上部を活用）

気軽に運動ができる施設については、会館を利用した実証実験を行うなど実現に向けた取組を行う。

会館については、利用促進を図るため料金体系の見直しや便所のバリアフリー化等の施設改修を検討する。

○ 分譲店舗の有効活用（取組項目番号71関連）

（取組状況）金融機関やスーパーを除き、サブセンター内には39の独立店舗があり、うち2カ所（新林、境谷各1カ所）が空き店舗となっている。

新林では、商店会として誘致を望んでいるが進展していない。

（課題）商店主の利用意向調査では、「そのまま所有しながら利用する」の割合が多いが、「わからない」や「他人に賃貸する」との回答もあり、今後、新たな店舗展開が求められている。

（今後）各商店会と協力・連携して、空き店舗情報を発信するなど、希望者とのマッチングを行う仕組みを検討する。

（○ 高齢者・障害者の買物実態調査実施の検討（取組項目番号42関連）は未着手）

主なメンバー （敬称略）	（商店会）増岡朝治，山村幸夫，東憲一，阿蘇俊夫，長留省悟，長谷川督，齋藤信男，久保井康二，竹井竜司 （自治連）（今後参加予定） （大学）安枝英俊 （行政）菱田栄造，片山尚彦，秋山龍哉（公社）西澤亨，山根新吾，伊藤晋
今年度まず取り組む取組項目番号	70 各サブセンター会館の有効活用
主な活動	○第1回部会 7月21日（金） ・商店会メンバー，行政，公社でサブセン利用意向に関する住民アンケート結果及び商店主に実施した利用実態調査結果を確認。 ・サブセンターごとに特徴があるので，それぞれに活性化の手法を検討する。
今後の予定	平成29年12月15日（金）に第2回部会を開催し，会館の利用料金体系の見直しやコンビニの誘致，気軽に運動ができる施設の実証実験の取組などについて，意見交換を行う。

<p>これまでの取組</p>	<p><商店会関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新林商店会との意見交換 9月26日(火) <ul style="list-style-type: none"> ・独立店舗の空き店舗対策, 銀行跡地の有効活用, 会館管理業務の向上等の意見 ○竹の里管理組合との意見交換 10月25日(水) <ul style="list-style-type: none"> ・会館で福祉サービスの提供, 地元野菜の売り場の提供, 会館利用者も気兼ねなく利用できるコインパーキングの設置等の意見 ○境谷商店会との意見交換 11月16日(木) <ul style="list-style-type: none"> ・生鮮・日用品が揃う常設店が必要, 独立店舗の区分所有者を組織化し, 施設管理や商店会の活性化を議論する等の意見。 <p>(福西商店会とは, 商店会内での勉強会後に意見交換を予定)</p> <p><自治会関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4学区地域の自治連合会長に対し住民アンケート結果を説明し, 自治連役員及び自治会長への配布・周知を依頼。 ・新林(11月11日連合会開催時に配布) ・境谷(10月27日配布, 11月26日開催) ・竹の里(11月11日連合会開催時に配布) ・福西(10月26日配布, 連合会開催は11月14日, 12月14日) ・今後, サブセン部会又は連合会で意見交換を実施 <p><事業者, 公社関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新林サブセン スーパー2階視察 8月28日(月) <ul style="list-style-type: none"> ・貸館利用していた場所を訪問し, これまでの運用状況や活用等について関係者と意見交換。 ・アンケートでのニーズが高い, 気軽に運動ができる施設として, 活用の可能性があることを確認。 ○洛西NT病院と意見交換 9月22日(金) <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関との連携により, 介護予防を兼ねた健康づくりプログラムの活動拠点としてサブセンを活用すること等を意見交換。 ○会館運営実態等について, 公社が地域団体に委託している運営管理者と意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日(木)新林, 境谷, 5月12日(金)福西の各管理者から意見聴取 ・10月16日(月)新林, 10月23日(月)福西の会館運営者と運営方法や改善等について確認 ○コンビニ誘致について事業者ヒアリング 8月中旬から <ul style="list-style-type: none"> ・境谷, 竹の里地域における誘致に向けて, コンビニ事業者(5社)への意向調査を実施し, 出店の可能性について打診。うち, 数社から出店可能との回答。 ○気軽に運動ができる施設について事業者ヒアリング 11月中旬 <ul style="list-style-type: none"> ・中高年齢層の健康増進, 認知症予防への需要がある。 ・軽い運動後に友達同士で話しができる場の提供があれば相乗効果があるのではないか等の意見。
-----------------------	--

情報発信・エリアマネジメント関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
72～76, 推進体制

- ・ワーキングの開催に至っていない。
- ・本年度は、京都市がPR会社（京都市の戦略的シティPR業務受託事業者）に対する委託により、関西圏・首都圏メディアを通じて、ニュータウンの魅力情報を発信していく。
- ・また、西京区役所洛西支所においては、昨年度に引き続き、大阪の梅田において洛西ニュータウンへの移住促進のための動画を放映した。
- ・上記の取組状況等も踏まえ、早期に本ワーキングの開催に向け調整を進めていく。

● ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信（取組項目番号72, 73）

（取組状況）効果的なメディアタイアップに向け、PR会社とニュータウンに関する魅力情報を共有。
現在、PR会社において、メディアに売り込むためのコンテクストを作成中
（課題）メディアの関心を引く、ニュータウン活性化の取組の情報提供
（今後）上記コンテクストに基づき、PR会社において各種メディアへのPR活動を実施。本年度中の、TV放映、雑誌・WEBへの掲載等によるニュータウンの認知度向上、魅力発信を目指す。

● 洛西ニュータウンへの移住促進のための情報発信（取組項目番号72, 73）

（取組状況）昨年度制作した、洛西ニュータウンの街並みや、地域の子育て活動をまとめた移住促進の動画を阪急梅田ビッグマンで、優しい人たちと豊かな自然をテーマにした移住促進の動画を阪急百貨店前デジタルサイネージにて放映
（課題）多くの人々の目に触れる情報発信である一方、効果の検証が難しい。
（今後）より効果的な情報発信の方法を検討していく。

● まちづくり通信の発行（取組項目番号76）

（取組状況）第6号を平成29年7月、第7号を9月に発行 ※平成28年度から定期的に発行
（洛西支所管内の世帯に、市民しんぶんの回覧に合わせて全戸回覧）
（課題）タイムリーな活性化の取組の発掘・発信
（今後）本年度内に、あと2回の計4回発行予定

● 洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業（「推進体制②」）

（取組状況）平成29年6月～7月 募集（募集期間中に3回の事前相談会を実施）、
8月 審査会、9月 採択事業決定
申請事業：6事業（申請額 計1,158千円） ⇒ 全事業を採択
（課題）採択事業等の取組進捗に対する効果的な支援
（今後）活動・事業実施団体間の情報共有を進め、効果的な地域活動のノウハウ等の共有を図る。

主なメンバー （敬称略）	地域活動団体、地域事業者、行政等（予定）
今年度まず取り組む取組項目番号	72 洛西ニュータウンのイメージづくり・ブランド化戦略の構築 73 ニュータウンへの流入促進につながるPR活動の推進 74 洛西ニュータウンの暮らし・イベント情報等の発信 76 まちづくり通信等によるニュータウン内の情報発信 推進体制① 洛西ニュータウンアクションプログラムの進行管理を行う「推進会議」の設立 推進体制② 洛西ニュータウンアクションプログラムに基づく市民主体の取組を支援する制度の導入
主な活動	—

<p>今後の予定</p>	<p>○「ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信」の取組を進めつつ、洛西ニュータウン・地域の魅力情報発信のツール・手法等の現状把握・今後の展開を検討するため、第1回のWG開催に向け調整を進める。</p> <p>○洛西地域のエリアマネジメントを考える会における「洛西ニュータウンと周辺地域におけるエリアマネジメントの推進」のための研究とも連携を図るため、協議を行っていく。</p>			
<p>これまでの取組</p>	<p>1 洛西NTアクションプログラム推進会議（推進体制①） 第1回（平成29年5月19日） ・「洛西ニュータウンアクションプログラム」の概要について ・推進体制（推進会議・運営会議・取組ワーキンググループ）及び規約について など 第2回（平成29年8月8日） ・ワーキンググループの実施状況，サポート助成申請状況等について など 第3回（平成29年11月21日） ・ワーキンググループ，その他の取組状況について など ※ 第4回（平成30年2月上旬）開催予定</p> <p>2 地域団体活動ステップアップサポート事業の創設（推進体制②） 地域主体のまちづくり活動に対する支援の取組として，団体等の活動の成熟度（ステップ）に合わせた活動へのアドバイスや経費の一部を助成するもの 助成対象事業の募集：平成29年6月1日～7月31日 （期間中に事前相談会を3回実施するなど，計7件の相談）</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;"> 申請事業・額 6件（1, 158千円） <内訳>活動スタートアップ支援枠 3件（242千円） 活動アップグレード支援枠 2件（616千円） 活動融合支援枠 1件（300千円） </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table> <p>審査会の開催 ：平成29年8月22日 ⇒ 全事業を採択 交付決定（広報発表）：平成29年9月20日</p> <p>3 まちづくり通信の発行（取組項目番号76） 第6号（平成29年7月発行），第7号（平成29年9月発行） → 直近の推進会議の開催状況や，取組ワーキンググループの活動状況のほか，ステップアップサポート事業などのトピックとなる取組の報告・周知</p> <p>4 ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信（取組項目番号73） ターゲット：京阪神地域の，特に若年層・子育てファミリー層 手法 ：関西圏・首都圏メディアからの情報発信 ⇒ まずは，ニュータウンの認知拡大を図り，ニュータウン以外の地域の方に一度行ってみたいと思ってもらえることをねらいとして実施</p> <p>5 洛西ニュータウンへの移住促進のための情報発信（取組項目番号73）</p> <p>(1) 移住促進CM動画（15秒） 日時；平成29年11月1日（水）～7日（火） <1日20回×7日> 場所：阪急梅田ビッグマン 阪急梅田駅構内イベント広場前</p> <p>(2) 移住促進コンテンツ（15秒） 日時：平成29年10月23日（月）～11月5日（火） <1日24回×14日> 場所：阪急百貨店うめだ本店北広場 阪急百貨店前デジタルサイネージ</p>	{	申請事業・額 6件（1, 158千円） <内訳>活動スタートアップ支援枠 3件（242千円） 活動アップグレード支援枠 2件（616千円） 活動融合支援枠 1件（300千円）	}
{	申請事業・額 6件（1, 158千円） <内訳>活動スタートアップ支援枠 3件（242千円） 活動アップグレード支援枠 2件（616千円） 活動融合支援枠 1件（300千円）	}		